

第8回 西宮浜小中一貫校設置準備委員会 議事録

日時：令和2年3月12日（木） 午後5時30分～午後7時30分

場所：西宮市立西宮浜中学校 多目的ホール（円形ホール）

出席者：【委員】（14名）

大阪樟蔭女子大学山本教授、西宮マリナパークシティ協議会木村会長、
教育連携協議会木挽委員長、加藤主任児童委員、青少年愛護協議会中村会計、
西宮浜小学校PTA加藤会長、西宮浜中学校PTA堀兼会長、
なぎさ保育園内田代表、いるか幼稚園松本園長、
西宮浜小学校清水校長、西宮浜小学校野田教頭、西宮浜中学校金地校長、西宮浜中学校岡教頭、
津田学事・学校改革部長

【事務局】（13名）

谷口学校教育課参事、奥谷学校改革推進課長、河内学校改革調整課長、岩本教育研修課長、
中島社会教育課長、越智学校改革調整課係長、中津学校教育課係長、木田教育研修課係長、
西川学校改革推進課指導主事、足立学校改革調整課嘱託職員、宮崎学校教育課嘱託職員、
岡本学校教育課嘱託職員、木村社会教育課嘱託職員

配布資料：次第

【資料1】式典の考え方

【資料2】ガイドブック2020

【資料3】西宮浜義務教育学校コミュニティ・スクール

【資料4】前回以降の主な動き・今後の主な動き

西宮浜中学校PTA広報誌「西宮浜中 ご卒業おめでとうございます」

1. 開 式

- 事務局が開催を宣言。
- 津田委員より開会の挨拶。

2. 式典の考え方について（報告）

- | | |
|-----|------------------------|
| 委員長 | ● 式典の考え方についての報告をお願いする。 |
| 事務局 | ● 式典の内容について報告する。 |

<主な説明箇所>

①閉校式について

- ・令和2年（2020年）3月25日（水）に開催するが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、晴天時には西宮浜小学校の運動場で開催する。
- ・雨天時は、保護者や来賓は西宮浜中学校の体育館で、児童生徒は自分の教室内にてテレビ中継を見る予定。
- ・来賓や保護者へ変更の案内をし、参加希望者は事務局や学校へ連絡する。
- ・今後の状況に応じて、内容を変更する可能性もある。

②入校式について

・4月7日（火）8時45分から15分程度で予定。

③開校記念式典について

・5月29日（金）に挙行予定。

・西宮初の義務教育学校の開校を広く周知する式典として、市長、市議会議長をはじめ幅広く来賓の方を募る予定である。

・1部を市教委主催で、2部を学校主催で行う。

・内容については校歌や校章の披露も盛大に行ったり、2部では思い出に残るような記念行事も行ったりできるように考えている

委員 Q 閉校式について地域や保護者の感じとしてはどのように考えているのか、情報をいただきたい。

委員 A 保護者は閉校式があるのか、参加していいのかについて気にしている人もいる。ぜひ参加したいという声は聞いている。

委員長 Q 今後、保護者や来賓への連絡は検討しているのか。

事務局 A 学校としても閉校式はやりたいという意向なので、教育委員会としても開催するつもりで進めている。1つの判断の時期としては、この3月17日に臨時の校園長会が開かれ、今後の方向性について方針が出されることになるので、それを受けてどのような形で開催するのが良いか、検討をしたいと思う。

委員 Q 閉校式について、以前から校長会では、この日が本来は終業式の日なので、他校の校長は参加しないという形で動いていたが、それはそのまま継続でよいか。25日が休みになったとしても地域主体でやるという方向は変わらないということによいか。

事務局 A そのつもりである。

委員 Q 臨時休業になったことで、小学校では1部の閉校式が実施できない。また、広い体育館とはいえ児童生徒が合わせて500名が体育館に入るとなると、いくら窓を開放したとしても、環境はそぐわないのではないか。その方向性も示してもらいたい。

事務局 A 室内での実施することが難しい場合は、天候等に左右されることもあるが、屋外での実施等も視野に入れて検討を進めていくというのも一つの方法としてはあり得るかと思う。

委員長 ● 基本的には体育館で行うが、先ほどのような懸念についてどれだけ配慮できるかということを改めて検討し、それでも難しい時には屋外も含めて考えていくということをお願いする。

3. ガイドブック 2020 について（報告）

委員長 ● ガイドブックについての報告をお願いする。

事務局 ● 4月からスタートする学校の説明用に作成した。カラー刷りにし、2000部ほど業者に発注する。

4. コミュニティ・スクールについて（報告）

委員長
事務局

- コミュニティ・スクールについて報告をお願いする。
- コミュニティ・スクールについて説明する。

<主な説明箇所>

- ・西宮浜義務教育学校を核として、人々のつながりや街の営みが豊かになる、子供達が西宮浜に愛着を持ち、次世代の担い手が育まれるように、皆様の心を一つにして取り組みを進めていただきたい。
- ・令和2年2月5日にこちらの20名の方が教育委員会から学校運営協議会委員として任命されました。
- ・市内で計11校のコミュニティ・スクールが誕生することとなった。
- ・委員の皆様にはすでに年間を通じて学校や子供達の様子を見ていただいているが、今後も率直なご意見をいただいたり、地域の課題なども出しながら、地域の保護者と教職員、時には子供達も交えて意見交換をするなどしていただき、素晴らしい学校を作っていただきたい。
- ・学校・家庭・地域で目指す子供像を大事にして、これらの観点で、学校では何をしていくのか、保護者として何ができるのか、地域活動とどう協働していくのか、ということコミュニティ・スクールとしてやっていただきたい。
- ・「学校運営協議会」の「会議」というところから延びている矢印は「学校関係者評価」「運営・参画」「情報発信」へつながり、評価結果に基づいて見直しを行いながら学校の運営に参画していただき、協議会で話し合ったことは西宮浜の皆さんにどんどん報告していくという形になる。
- ・「教育連携事業本部」から出ている矢印は「情報発信」「学校支援」「地域貢献」とのつながりを示している。現段階では英語学習や、地域活性化としてこれまでも取り組んできたマリナフェスティバルなどの幼・保・小・中が連携した行事、「地域貢献」にはさくら祭り、あいさつフェスタ、マリナワークなど。その先に各地域団体やPTA、大学、公共施設、さらにはマリナサポートやPTAのボランティアも繋がっていることを示している。

5. 各種報告について

1. 学校より

小校長

- 小中学校より進捗状況の報告を行う。

<主な報告箇所>

- ・小学校は3月3日から臨時休業となり、育成センターに行っていない子供達のうちご家庭で預け所がないという1年生から3年生の児童9名を預かっている。
- ・これから児童の様子を電話連絡にて確認していく。
- ・来週末の卒業式は内容をできるだけ簡素にしたうえで開催するようにした。
- ・今考えていることが明日になったら分からないというところで、その都度臨機応変に対応を考えながら準備を進めている。

中校長

<主な報告箇所>

- ・2月28日が最終日になるかもしれないとの思いで動いた結果、ある程度準備も少し余裕を持って卒業式を挙行することができた。
- ・内容はずいぶんと削除したが、1人1人の証書授与もでき、最後の子供達が表現する場面というのを保証しようということで合唱も行った。最後のこの1週間、10日というのが、最後にし尽くしておきたいという時間が奪われてしまったということは、子供達にとっては複雑な思いだっただろうと思う。それでもすべての卒業式の内容を一生懸命やっており、無事巣立つことができ良かったと思う。
- ・公立高校の入試も予定通り終了した。
- ・多少内容を削減したとしても閉校式を行い、何とかけじめをつけてあげたいと思う。

2. PTAより 小P会長

- PTAの進捗状況について報告を行う。

<主な報告箇所>

- ・12月12日に臨時総会を行い、西宮浜義務教育学校PTA設立について、PTA会則について、会費について、PTA組織について、そして開校記念品について承認をすべていただいた。
- ・1月の中旬には、小学校、中学校PTAそれぞれで来年度執行部の説明会、選出を行い、1月の末には15名全員内定した。
- ・3月上旬の新執行部の顔合わせ会では、自己紹介などをして、新体制になる会議時間やそれぞれの役職ごとに活動内容も話せた。
- ・開校記念品については、校章を印刷したアクリル製キーホルダー5cm丸形、470円(税込)となり、始業式・入学式の方で贈呈する。西宮浜義務教育学校の児童であることを認識してもらうため、令和2年以降も使用することを推奨する予定になっている。

3. 庁内開校設置準備委員会の報告

事務局

- 第13回から第17回庁内開校準備委員会について報告する。

<主な報告箇所>

- ・関係法令の改正について
- ・阪神バスとの協議について
- ・育成センター及び放課後の居場所事業について
- ・図書館の一般利用、活用について
- ・義務教育学校の付属校化について
- ・義務教育学校に関するアンケート調査について

4. 前回以降および今後の動きについて

事務局

<主な報告箇所>

- ・新1年生、新7年生の説明会を1月に実施した。来年度も同様の形で行う予定である。
- ・今後の日程は新型コロナウイルス感染への対策に応じて変更する可能性

6. 質問・意見

がある。

- 委員 ●地域住民として西宮浜義務教育学校の誕生のために尽力していただきました教育委員会の皆様、小学校、中学校の先生方に深く感謝いたします。どうもありがとうございました。2年間ということで、いろいろと参加させていただいて、感想はと聞かれたら、少しこれは外れるかもしれませんが、この会に参加させていただいて、西宮浜のことを全然知らなかったなと思いました。色んなことで学校や施設、そんなことに目が行くようになりまして、自分なりにちょっと勉強したりとか、そういうことがありました。それと、これからも西宮浜の行事にはできるだけ参加していこうと思います。今まであまり参加していませんでしたが、これから積極的に参加していこうと思います。また今年初めて小学校2年生を対象に自転車のリング回しをしました。その時に私は感動しました。2年生の男の子が終わった後に私のところへ来て無言で拍手をするのですね。こんな子が一生懸命やれば応えてくれるのかと思ひましてね。幼稚園でもしたのですが、園児さんたちがハイタッチをしてくれて、一緒に写真を撮っていただいて、本当にこういうことをやってよかったなという思いがしました。新しい学校で先生方の一生懸命の姿を見たら、子供達がそれに応えていこうという気持ちになるのかなと思いました。これから西宮浜の未来を背負う子供達を新しい学校で役に立つように育てていただけたらと思います。どうもありがとうございました。
- 委員 ●私も2年少し前からお話をいただいて、新しく小中一貫校を作るのだというお話を聞きました。これは目的としては、生徒さん、児童さんの数が減っていて学校がなくなるリスクもあるのだと聞きまして、これは何とかしないといけないという感じになりました。ただ、私もかなり年が過ぎましたので、なかなか学校のことはよく分からない、私たちが通っていたころは本当に団塊の世代の少し後なので、クラスも多かったです。今の子供がいなくなるということが考えられなかったほどの競争社会のようなところで来ましたものですから、そんなのが分かるのかと思っていました。結婚をして、子供ができて、小学校、中学校に入って子供を見ても彼らも卒業しましたので、全然最近のことは分からないので、何かお役に立てるのかな、というのが正直なところ実感でした。教育委員会の皆様や現場の先生方が一生懸命お話をしてくださったりして、この西宮浜に良い学校を作ろう、魅力のある学校を作ろうということで、ご努力されているのがきちんと感じられて、これは、学校だけの問題ではなしに、西宮浜全体のまちづくりに関連することだということもお話をいただいて、それにもご協力をいただいて、「まちづくり楽校」をやったりとか、色々なことにご支援をいただき、本当にありがたく思っています。私たちも会議に出ていて熱意がどんどん伝わるものですから、こんなに良い学校を作るのに反対をす

る人は一人もいないだろう、と思いましたが、反対する人がいるということがびっくり仰天でした。それがなんとか片付いて、一応うまく開校いうことで本当に嬉しく思っています。それから、これからの教育のことにに関して、「せかい」「ふるさと」ということがありまして、私は「せかい」というのが一番気にかかっています、どんどんグローバルな時代ですから、世界をしっかりと見ていかないといけない、ということなのですが、語学だけの問題ではなく、海外に出ると日本のことをしっかりと自分の言葉で話せないと全く意味がないと思いますので、子供達が日本で生まれた日本人として、日本に誇りを持てるように、海外で日本のことを発信できるような、そういった形でグローバルな活躍をしてもらえるような人に成長してもらえたらいいな、と思っています。我々も一緒になって日本を良い国にして、子供達は心身ともに健康に育っていけるような、そういう教育をしていければよいのかなというふうに感じております。これからも応援していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。以上です。

委員 ●2年間お世話になりました。皆さん、教育連携とか部会とかで重ねて一生懸命熱心になさっている中、学校のこともあまりよく分かっていないし、民生委員としてあまり役に立てなかったかなと思っているところです。実は、私の息子がこの中学校の第1回目の入学生でして、その時、勿論PTAもなく、お世話係というのが1クラスに2人いたのですね。1学年3クラスしかなかったので、6人いました。人数も少ないし、校長室で校長先生を交えて集まっている、という感じでした。次の年くらいから保護者会を作ることになり、和室で規約などを作ったりするのによく集まっていました。たまたま今回こういう機会をいただいて、懐かしく、とても嬉しかったです。それとはまた別のところで、マリナサポートのお誘いをいただきまして、図書と園芸にも関わらせていただきました。新しい学校については、今の皆がよく挨拶をしてくれるとか、とても良い雰囲気のままそれを引き継ぎながら、学習とかもっと充実して、お子さん一人一人がいきいきとしていて、そういうお子さんを見ていけたらいいなと思います。私自身も引き続きお手伝いをできることがあったら、進んでやりたいと思います。どうもありがとうございました。

委員 ●青愛協としても、青愛協に持って帰って話をした時に、皆さん本当に前向きに「良い学校になればいいね。」という意見でしたので、ここに来て何か意見を言うということも特になかったのですが、私自身としても今、小学校2年生と中学校1年生がいるということで、「どんな学校になるのかな」という期待感や不安も若干ありながら、今回西宮浜の子供についてや、西宮浜の将来についてなどを考える機会をいただけて、大変良かったなと思っています。これからコミュニティ・スクールも始まるということで、こちらの資料を見させていただきましたら、これからももっと地域と一緒にコミュニティを作っていくということで、義務教育学校になることで西

宮浜が大いに活性化していくとか、西宮浜が発展していくということに繋がっていけばいいのかな、とすごく期待しているところもあります。仕事から防災関係をやっていることもありまして、地域コミュニティということがどれだけ大切かというところも実感しておりますので、子供達から発信できるぐらいのコミュニティ力というのも作り上げられたらいいのかな、ということもすごく思っております。子供の親としても青愛協としてもこれから協力できる場所をしっかりとさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

委員

●2年間ありがとうございました。平成30年の6月7日が第1回の設置準備委員会だったと思うのですが、西宮浜小中一貫校設置準備委員会の検討内容及びスケジュールのA3の資料があったかと思えます。それに19の主な検討内容が挙げられていました。そこにはPTAの事も勿論あり、この時期にはもうPTAは話を進めていかないといけないのだというのを感じながら、2年でたくさんものを協議し、検討していくには相当中身の濃い年になるのだろうなど、私自身覚悟を決めて今まで携わってこさせてもらいました。委員会の前には市教委の方とお話をしたり、終えてからも議事録で内容を確認したりしながら、一つ一つ前へ進んでこさせてもらいました。平成30年の11月22日には小中一貫校に向けての懇談会を小学校、中学校でそれぞれ行ったのですが、その時には西宮市教育委員会の事務局から丁寧に保護者の方に説明をいただいて、最後に当時の小学校の校長先生と中学校の校長先生からもご挨拶をいただいて、この学校への熱い思いを感じてすごく心に残る日になりました。令和元年度も校名が決まり、校歌、校章も決まりました。校歌は先日4年生が歌っているのを少し聞かせていただいたのですが、伴奏に合わせて歌っているのを聞いてすごく感動しました。また、始業式、入学式には私も参加をさせてもらって、一緒に歌わせてもらいたいと思いました。この準備会で会を重ねるごとに、たくさんの方とそれぞれお話をさせてもらい、お知恵もお借りして、すごく充実した日々でした。これからスタートですので、これからはたくさんお世話になると思いますが、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

委員

●2年間ありがとうございました。2年前中学校PTAの会長になったのですが、もうすぐに当時の校長先生から2年後に小中一貫校になることや、この設置準備委員会に出席して欲しい、というお話を聞かされまして、正直「大変な年に会長になってしまったな」という思いもありましたが、教育委員会の方々はじめ、設置準備委員会のメンバーの皆様と準備を進めていく中で、西宮浜という地域の学校をなくさないために、西宮浜の子供達の学びの環境をより良いものにしていくためにというすごく熱い思いに触れさせていただき、本当にいち保護者としても感謝の思いがいっぱいとなり、私自身も精一杯させていただきたいなと思うそんな2年間でした。義務教育学校になるということで、保護者の方々からは分からないことや不安や

疑問などいろいろなお声を聞くことがありまして、なんとか正しい情報やお伝えできることはPTA便りを利用して配信させていただいたり、また、保護者の方と会うたびに話題に上がるので説明させていただいたり、この委員会に出席している者として、情報発信をできるだけしていきたいというのも心掛けておりました。またこの準備委員会以外にPTAの新組織の立ち上げのために、小・中のPTAでいろいろと会議を重ねてきましたが、難しい課題もたくさんありますが、深刻になり過ぎずに、明るく楽しくやってきましたのは、周りの仲間に支えてもらって、また、お忙しい中も先生方にいつも嫌な顔ひとつせず、暖かくサポートしてくださったおかげだな、と心より感謝しております。本当にありがとうございました。

来月開校する義務教育学校は、そうした皆の熱い思い、また子供達も公募で校章だったり、校歌の歌詞だったり、色んなことを義務教育学校に思いをのせて新しく開校する学校だと思しますので、本当に温かい良い学校になると思っていますので、今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員 ●2年前ここに来てくださいと言われて来た時に、何も知らずに来ました。一貫校の話も何も分かりませんでした。来ていろいろと話を聞きながら、その時スタートラインについたばかりゼロからのスタートだったのです。ですので、この2年間でむしゅらにやってきたなというのが本音です。設置準備委員会で地域の方々とお話をしたり、できるだけ実態を知らないといけないと思い、いろんな地域の会合にも出させいただいたりして、やはりこの西宮浜の街を何とかしたい、西宮浜を元気にしたいという思いを感じ、そこでエネルギーをもらった気がします。学校は学校だけのものという発想はおかしいと思っています。学校は子供のためであり、地域のあると思っていますので、何とかそこに貢献できたらと思い、2年間ひたすら走り続けてきたなという気がしています。学校が臨時休業になり子供がいなくなったので、メモリアルスペースをどうしようかということで、過去の資料を紐解いてじっくり見ていました。そうした時に、初代校長がこの学校をどんな方向でしていくか、学校づくりの基本方針のような、手書きのものが残っているのです。それを見ていると、まさに、この義務教育学校を進める三本柱の「せかい」「じぶん」「ふるさと」は、西宮浜の小中学校を開校する時にできた基本方針が脈々と続いているものだなというのがありましたので、なんとかこれを発展させたい、進めていけたらと思っています。地域の方々の力なしに、保護者の方々の力なしに進められなかったもので、そういう点では先ほどもありましたが、本当に皆さん、建設的な意見を出していただいて、この2年間新しい学校を作るという点では助けられたなと感じています。これで終わりではなく、まだまだ詰めていかないとはいけないと思いますが、本当に皆さん、ありがとうございました。

委員 ●まず、地域の皆さん、保護者の皆さん、事務局の皆さんにとってもお世話に

なって、私は西宮浜小学校に1年間なのですが、1年以上いたように仲良くなれたと思います。お世話になってありがとうございました。昨日、私は特認校制度で来る6年生のお嬢さんを案内したのですが、その子が説明会でもらったガイドブックを隈なく読んで質問したいことを箇条書きで書いてきていました。実はその子は私が最後に担任をした子で、5年振りに会ったのですが、私がいるということを知って、「聞きたいことがあるんです！」と言いたくさん質問してくれました。熱い思いを持っているのを感じてとても嬉しかったですし、その思いに応えるには、まずは、皆が同じ方向を向くということかなと思いますので、そういう意味で言うと、すごく条件が整っているのではないかと思い、とても楽しみにしています。また来年度もよろしくお願いします。

委員

●昨年ここへ来てこの会に参加した時に、私の頭の上を会話が飛び交っているのですが、全然ついて行けなくて、一気に色々な情報が入ってきたのを覚えています。今はそのことを教頭とも話しているのですが、毎晩遅くまで仕事はしますが、やりがいがある仕事でいいよな。疲れはあるけれど、やっている内容がこれからを作る楽しい作業なので、仲良くやっているのはいいなと言っていました。休みに入ってから加速するように忙しく、細かい部分の話がどんどん出てきていまして、もうあとわずかなのですが、ある程度調整し尽して4月を迎えたいと思っています。ありがとうございました。

委員

●私は3年前に辞令で「小中一貫校を作るぞ」ということを言われてここへ来ました。この街は、桜がすごく綺麗ということもあり、胸を踊らせながら、このプロジェクトに参加させてもらいました。小中一貫校とは何かとか、4-3-2制とは何か、5-4制とは何か、とにかく情報収集をしっかりとし、いろいろ調べて、義務教育学校の仕組みはこのようになっているのかを勉強し続けた1年目でした。そして2年目以降は、このプロジェクトに関わらせていただく中で皆さんのベクトルが一緒なので、やる気がどんどん加速していき、いい仕事をさせていただけたと思いました。それに、教育委員会の方々はまったく違う視点で見えていただいている、そういう視点もあるのかとたいへん勉強になったのを覚えています。現在私の仕事は義務教育学校の行程表を作っていて、その項目は100項目以上あるのですが、それに、決定事項を私は「確定」と打つのですが、それがなかなか楽しいです。それを、明日の小中一貫推進委員会に出すのですが、振り返ればこれだけやれてきたのは、皆さんのお陰だなというのがあります。3月26日には小中の合同会議があるので、これだけ皆さんに義務教育学校はここまでできたのですよ、後これだけ残っていますよ、と話をさせてもらって、その上で4月を迎えられたらいいなと思っています。来年は本当にたくさんのお生徒がやって来ると思うので、教師陣もしっかりやっていかないといけないなと思ったそんな3年間でした。本当に色々ありがとうございました。

した。

委員 ●2年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。2年前のこの会議を思い出すと、まず、西宮浜の皆さんや先生方はお顔を合わせるが多かったですので、その規模なのかと思ったら、蒼々たる市教委の先生方や皆さんがお集まりになられて、いよいよすごいスケールで事が起きているのだと感じ、その一員に加わらせていただき、背筋が伸びたという印象がありました。進めるにあたり、両校の校長先生は勿論ですが、市の方の情熱と言いますか、ここにかかる思いをひしひしと感じるばかりで、何か貢献したいと思っても、貢献できることは少なかったかとは思いますが、加わらせていただき、意見もさせていただいてありがたかったです。不思議に思ったのが、ここまで細かいことを地域の我々の声を拾うかと、どんどん進められたら良いのにと思ったりしましたが、それが逆に出させていただいている我々としては、どんなことでも地域の声を拾っていただいて、そこで議題にのせていただいた上で決定していくという、地域づくりをこの学校を通してされているのだと感じ、勉強にもなりました。心残りというと、わざわざ事務局の職員の方に来ていただいて、卒園児、年長児向けの保護者会をしていただいたのですが、そこも少数だったことと、なんとか西宮浜外からのご入学を勧めたいと思ったのですが、結果的に空振りに終わりました。来年度は何とか入園説明会辺りで話をしっかり入れた上で貢献したいという風に思っています。皆さん、どうもありがとうございました。

委員 ●ここまで来るのに学事・学校改革部長をはじめ、皆様現場の方、当事者の方々のご苦勞はさぞかし大変だったと思います。この温かい西宮浜の街に一貫校、義務教育学校ができるということが本当に嬉しくて、新しい教育ができるのかとても期待しているのですが、さらに発展していくことを願っています。2030年には48%、2050年には100%が人工知能に置き換わると言われておりますが、人工知能が生活を変えてしまうかもしれない未来に予測不可能なことが起こっても、子供達が対応できるような大人になるために、主体的な教育が必要になってくると思うのですが、そういう経験を通して未来を引っ張っていける子供達にこの一貫校で学んでなっていって欲しいと思います。これからもまだまだご苦勞が多いと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員 ●平成29年度からこの課題は何かしていかなければならないというのはあったのですが、私たちも何からどう手を付けていいかというのが全然分からなくて、試行錯誤状態で、他市でそういうことをやられているというのはあるのですが、状況が違うとかがある中で、うちの職員の中でも設置準備委員会の前に視察などいろいろ行っているのですが、やはり自分たちが考えないと進めていけないのだなというのが実感でした。学校と教育委員会だけで決めていくのではなく、これは皆さんと時間を掛けて、いろいろ

思いを擦り合わせながらいい方向にしていけたらと思いながらやってきました。

学校だけというのではなく、学校づくりと地域づくり、街づくり。今、一区切りついたのでありますが、今後はそれをスタートさせていかなければならないと思います。

教育委員会はいろんな形でサポートさせていただいたのですが、皆さんをもう一度繋げ直した感じだったかなと思いました。もう一度繋ぎ直したようなところになったので、そこで学校の皆さん、地域の皆さんにもっともっと興味を持っていただいて、盛り立てていただけないといけないと思います。その代わり、学校の皆さんも地域に出て行って、地域とどんどん繋がってという相乗効果でより良い地域が出来たらいいなと思います。教育委員会という組織が入って学校づくりということはしたのですが、結果的に地域づくりにも少しご協力できたところが嬉しかったと思っています。こういういい形のノウハウをできれば他のところでも、他の西宮市内でもやっていけたらと思います。皆さんは先駆者なので、これからもどんどんご協力いただいて、いい地域にしていただければありがたいと思っています。皆さんのご協力がなかったらなかなかできることではないので、本当にビッグプロジェクトとなりましたので、ご協力いただいたことに感謝いたします。皆様ありがとうございます。お世話になりました。

委員長

●私の仕事、実はこの会が始まるまでに半分済んでいたような気がしています。先ほど言われていたように6月にこの会がスタートしました。その前に座長をという依頼がありためらいましたが、行政も本気で向かうという返事を聞き、お引き受けしました。まさに大きなプロジェクトが始まったという思いでした。どこにどう着地するのか方向はあっても、ゴールの見えない形でのスタートでした。最初に私が言ったことはとにかく核となる雪玉が必要であるということでした。小さな雪玉をつくり、これを転がして大きな雪だるまにしていかななくてはならないと。最初の雪玉は大人数ではつくれません。しんどくても少数の人がつくらないといけないという話をしました。ある事務局員が雪玉をつくるために大変頑張ってくれました。その間、別の事務局職員も地域の方を何度も訪れ、説明してくれていました。そこからのスタートでした。それが、この委員会を中心に学校、地域、行政が前向きな大きなベクトルをつくり、今、大きな雪だるまとなって一つのゴールを迎えたということです。このプロジェクトに関わらせていただけたということは、私にとっても大変ありがたかったということを実感しています。この義務教育学校で考えられていることは、全国どこに出しても十分に主張できるものです。それだけの構想であり、内容であり、組織です。2月に神戸市総合教育センターの所長さんとご一緒する機会があり、そこでも西宮の義務教育学校の取り組みが大変注目されていま

した。それだけのものを皆さんがつくってこられたのです。
今は一つのゴールですが、これからこの学校をどう充実させるかということが大事になります。コミュニティ・スクールのことが先ほど話にありました。言葉としては難しいのですが、ちっとも難しくないのです。簡単なことで、今までしてきた通り、学校と地域と行政、そして子供と一緒にあって学校をつくるということです。それがコミュニティ・スクールの理念です。特に子供を入れて欲しいと思います。このことを今後、ますます充実させていただきたいと願っています。中学校長が何回目かのこの会で、「子供が主人公である学校づくり」と言われました。まさにそのことなのです。これからまだまだ大変ですが、ぜひとも頑張ってください。私にできることであればさせていただきます。本当にこれで最後の会になりました。2年間本当にありがとうございました。

6. 閉 式

- 委員長が閉会を宣言。